

インタークーラキット 取付説明書



取付けは必ず専門業者に依頼してください。
取扱説明書を先に読んでから作業を行なってください。
本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	車種別インタークーラキット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド №	13001-AM007
取付説明書品番	E04251-M40020-00 Ver.3-3.01
整備要領書品番	1036YE00A , 1036YE00B
メ ー カ ー 車 種	三菱 ミツビシ ランサーエボリューション CBA-CZ4A
エ ン ジ ン 型 式	4B11
年 式	2007年10月～
備 考	【注意事項】 ・純正インタークーラパイピングもしくは当社パイピングキット (コード№13002-AM003)専用品です。 その他のパーツ装着車両では干渉する恐れがあります。 ・シールテープを使用しますので用意してください。 ・ラジエターサポート及びレインフォースの加工が必要となります。 【別途必要部品】 ・シールテープ ・パワーステアリングフルード 三菱純正フルード MITSUBISHI ATF

適合車両の年式は、2008年08月現在のものです。
2008年08月以降に登録された車両への適合については、お客様相談室にお問い合わせください。

改訂の記録

改訂№	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3.01	2008/08	初版

パーツリスト

連番	コード№	品 名	数量	形 状	備 考
1	G17910-M40021-00	インタークーラコアAssy	1		
2	G17951-M40060-00	インタークーラインレットパイプ	1		
3	G17921-M40010-00	インタークーラブラケット№1	1		
4	G17921-M40020-00	インタークーラブラケット№2	2		
5	G17961-M40010-00	インレットパイプブラケット	1		
6	G44461-M41010-00	パワステパイプブラケット	2		
7	1803-SA030	シリコンホース φ 70 L=70	1		
8	G09115-K00030-00	シリコンホース φ 60- φ 70	1		
9	18005-AK009	ホースバンド#40	1		
10	17367-027396	インシュレータラバー	1		
11	1801-SA006	耐油ホース φ 10	1		L=1000
12		ボルトM6 L=20	5		P=1.0
13		ボルトM6 L=25	1		P=1.0
14		ボルトM8 L=15	2		P=1.25
15		ボルトM8 L=20	4		P=20
16		フランジ付きナットM6	5		
17		フランジ付きナットM8	2		
18		スプリングワッシャM6用	5		
19		スプリングワッシャM8用	6		
20		プレーンワッシャM6用 大径A	5		φ 17.7-6.7 t=1.6
21		プレーンワッシャM8用	6		
22		プレーンワッシャM8用 大径	1		

パーツリスト

連番	コードNo	品 名	数量	形 状	備 考
23		プレーンワッシャM12用	1		
24	G90311-062101-03	プレーンワッシャM6用 大径B	1		φ 25-6 t=2
25	G99551-015003-00	コルゲートチューブ φ 15	1		
26		タイラップ(中)	2		
27		タイラップ(大)	1		
28	94501-157100	カラー	2		φ 20-10 t=5
29	93050-002100TP	取扱説明書	1		
30	E04251-M40020-00	取付説明書	1		

パーツリスト内の部品の中には、補修パーツとして設定してある部品もありますので、別途ご購入の際は、受注センターにお問い合わせください。

受注センター

TEL : 0 5 4 4 - 2 9 - 1 2 3 4
FAX : 0 5 4 4 - 2 9 - 1 1 5 1

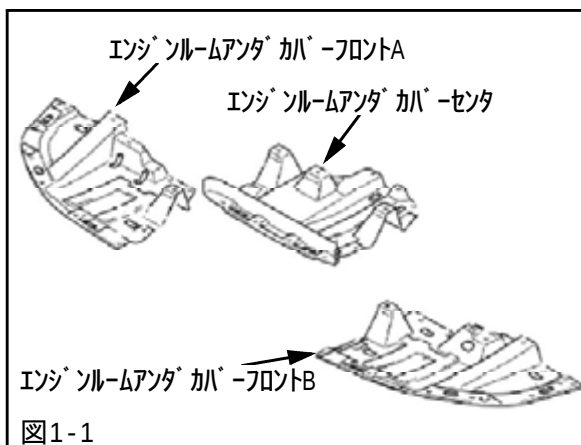
1. ノーマルパーツ取外し

作業を始める前に、バッテリーのマイナス端子を取外してください。
必ず整備要領書及び取扱説明書に準じて作業を行なってください。

- (1) エンジンルームアンダカバーフロントA, エンジンルームアンダカバーフロントB, エンジンルームアンダカバーセンタを取外してください。

アドバイス

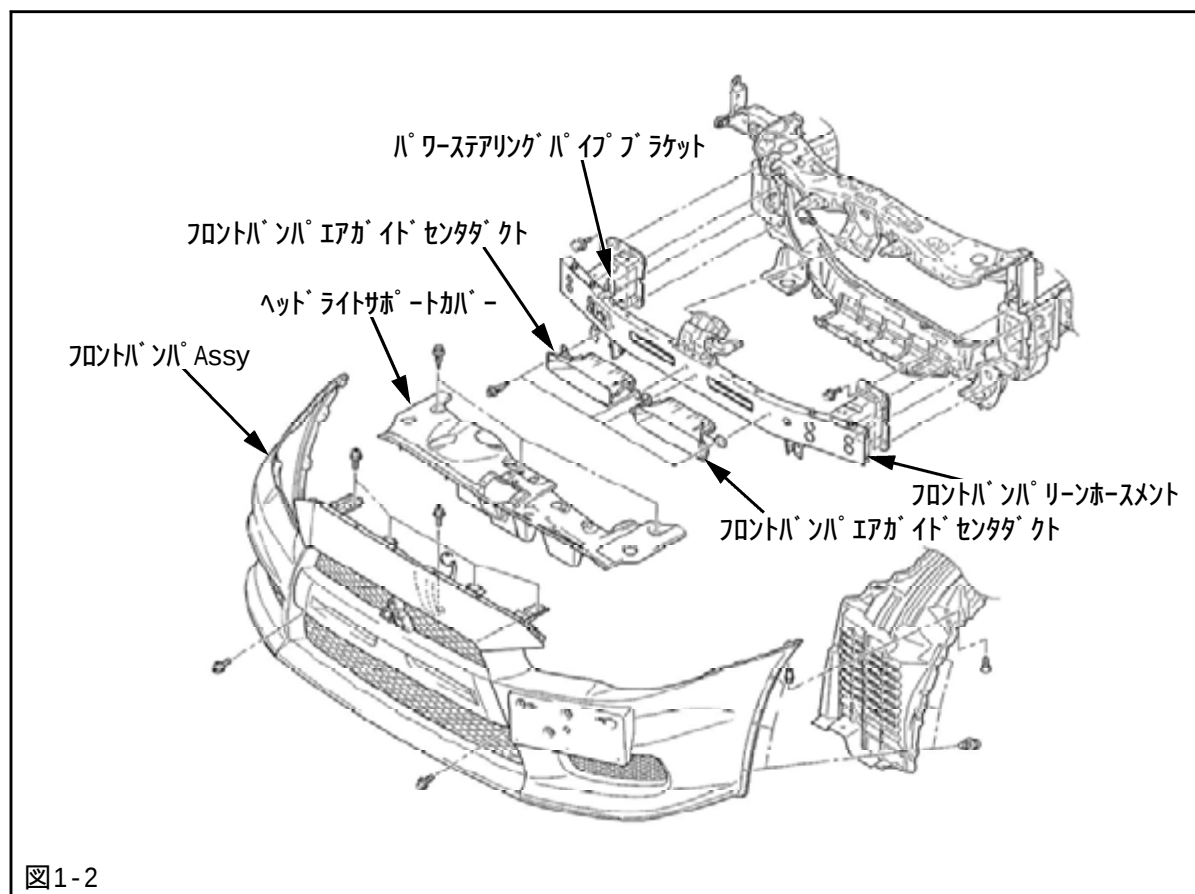
- ・エンジンルームアンダカバーフロントA, エンジンルームアンダカバーフロントB, エンジンルームアンダカバーセンタは再使用します。



- (2) ヘッドライトサポートカバー, フロントバンパAssy, フロントバンパエアガイドセンタダクト, フロントバンパリーンホースメントを取外してください。(図1-2)

アドバイス

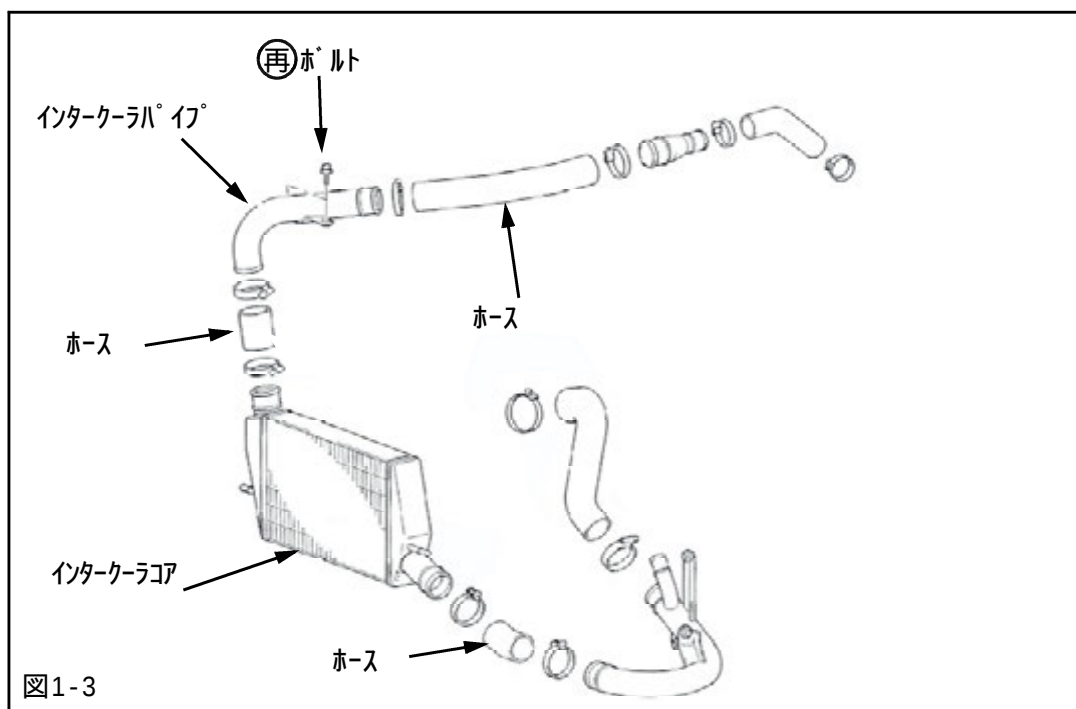
- ・ヘッドライトサポートカバー, フロントバンパAssy, フロントバンパエアガイドセンタダクト, フロントバンパリーンホースメントは再使用します。



(3) インタークーラパイプ, ホース ~ , インタークーラコアを取外してください。(図1-3)

アドバイス

・ボルトは再使用します。

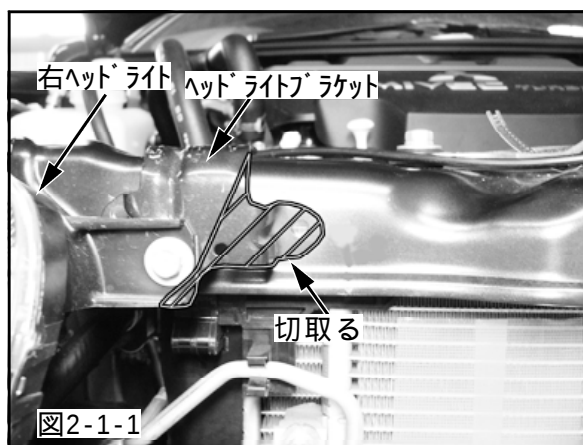


2 . 純正パーツの加工

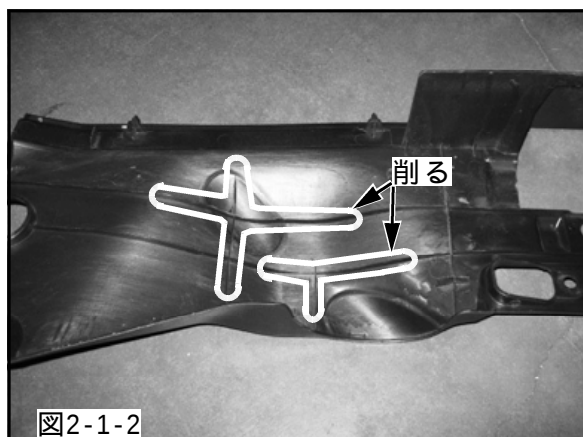
2-5.の作業は、マニュアルトランスミッション車のみ作業を行なってください。

2 - 1 . ヘッドライトサポートの加工

(1) ヘッドランプサポートアップパネルの右ヘッドライトブラケット部分を図のように切取ってください。
(図2-1-1)

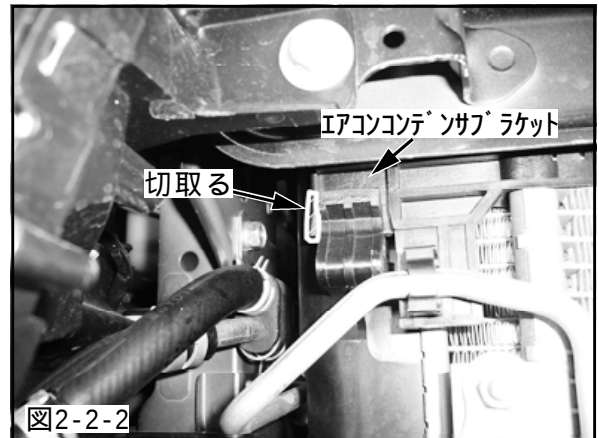
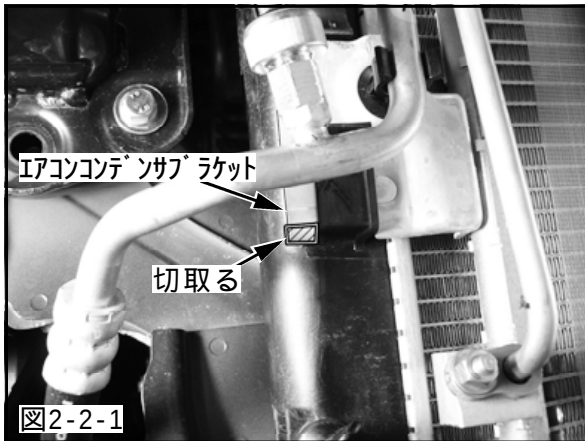


(2) 1.(2)で取外したヘッドライトサポートカバーの裏側のリブを削り取ってください。(図2-1-2)



2 - 2 . エアコンの加工

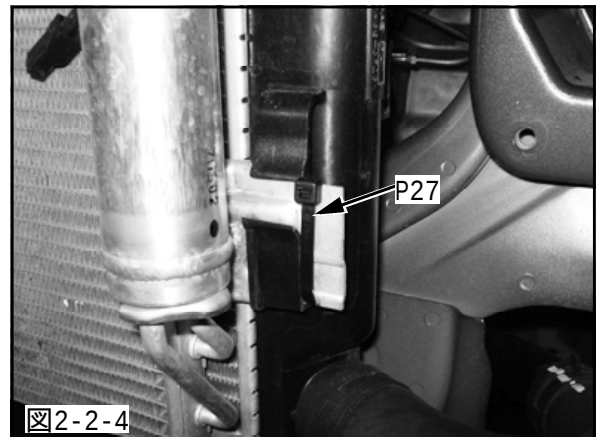
- (1) エアコンコンデンサを車両左側に移動するため、コンデンサブラケットの図示部分2箇所を切取ってください。(図2-2-1, 2-2-2)



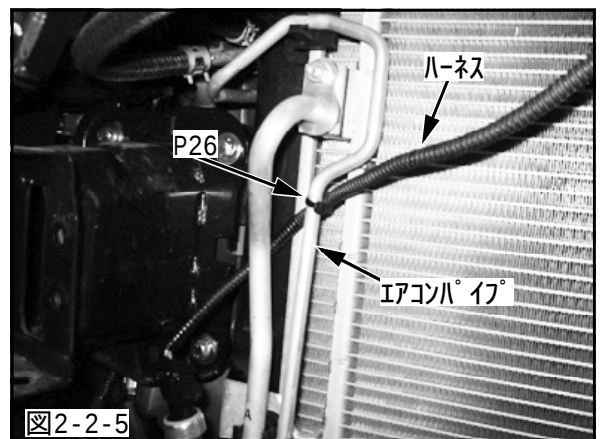
- (2) エアコンコンデンサを車両左側に一杯まで移動し、図の部分にヤスリ等で幅5mmの溝を製作してください。(図2-2-3)



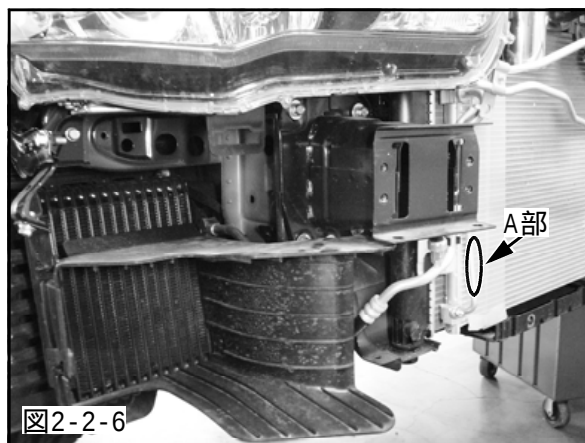
- (3) 2-2. (2) で製作した溝を利用して、エアコンコンデンサを固定してください。(図2-5)
・タイラップ(大) (P27)



- (4) ハーネスをエアコンパイプに固定してください。(図2-2-5)
・タイラップ(中) (P26)



- (5) インタークーラコアAssyとエアコンパイプが干渉しないように、エアコンパイプの図A部を車両後方へ押し曲げてください。(図2-2-6)



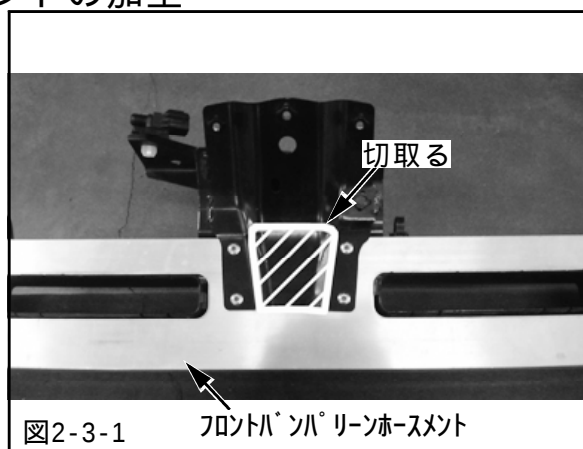
2 - 3 . フロントバンパリーンホースメントの加工

- (1) 1. (2) で取外したフロントバンパリーンホースメントからパワーステアリングパイプブラケットを取外してください。(図1-2)

アドバイス

- ・リベットの頭を削り落とすと取外せます。

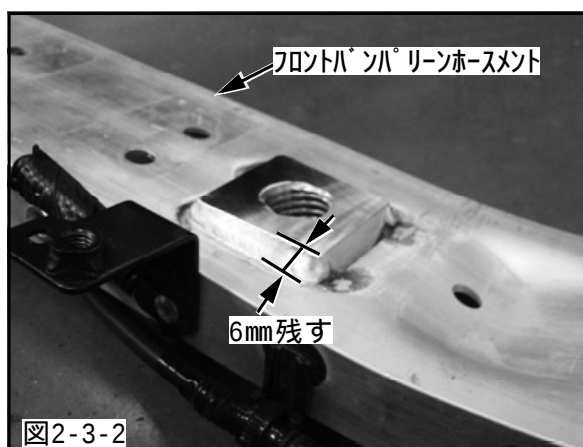
- (2) 1. (2) で取外したフロントバンパリーンホースメントの図の部分に切取ってください。(図2-3-1)



- (3) フロントバンパリーンホースメントの牽引フック取付部を図のように6mm残し削り取ってください。(図2-3-2)

⚠ 注 意

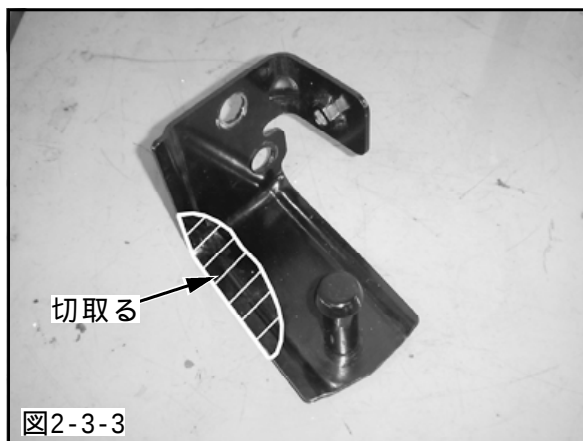
- 溶接ビードが極端に薄くならないように注意して加工を行なってください。
溶接ビードが薄くなりすぎた場合、牽引等を行った際に、破損する恐れがあります。



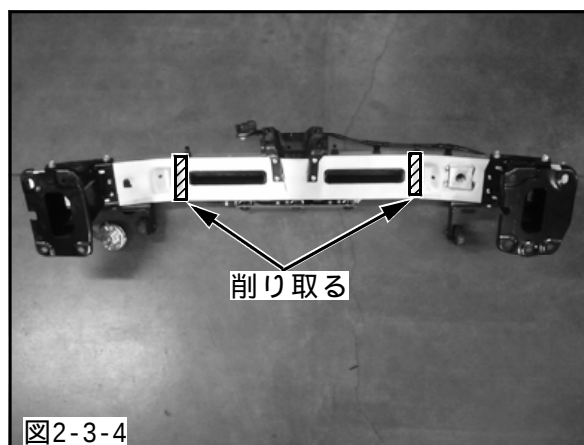
- (4) 牽引フックをフロントバンパリーンホースメントに取付けて飛び出した部分を切取ってください。

- (5) フロントバンパリーンホースメントに付いているバンパおよび純正インタークーラブラケット(右)の図示の部分をインタークーラコアAssyと干渉しないように切取ってください。(図2-3-3)

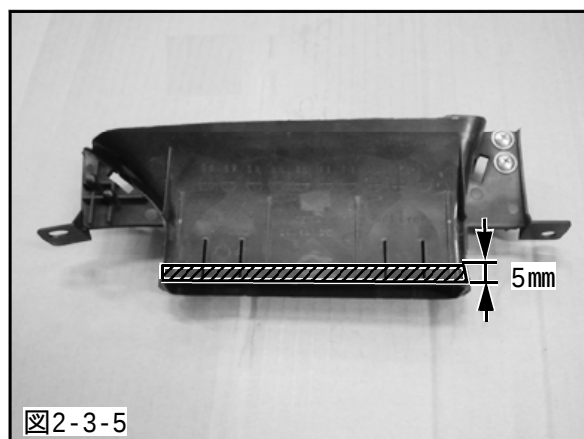
- (6) 2-3. (5) で加工した純正インタークーラブラケット(右)をフロントバンパリーンホースメントの元の位置に取付けてください。



- (7) フロントバンパリーンホースメントの図の位置をインタークーラコアAssyと干渉しないように削り取ってください。(図2-3-4)



- (8) 1. (2) で取外したフロントバンパエアガイドセンタダクトをインタークーラコアAssyと干渉しないように図の位置を切取ってください。(図2-3-5)

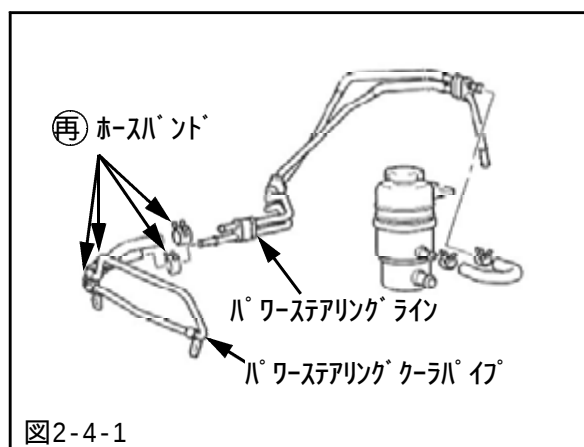


2 - 4 . パワーステアリングクーラパイプの移動

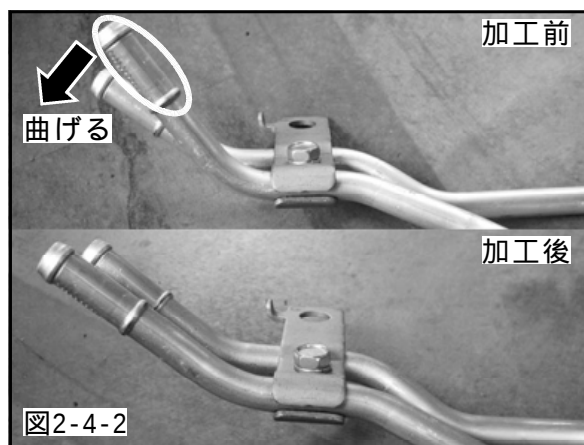
- (1) 耐油ホース $\phi 10$ を480mmの長さに2本切断してください。
・ 耐油ホース $\phi 10$ (P11 $\times$ 1)
- (2) コルゲートチューブ $\phi 15$ を250mmに2本切取ってください。
・ コルゲートチューブ $\phi 15$ (P25 $\times$ 1)
- (3) パワーステアリングクーラパイプおよびホースをパワーステアリングラインから取外してください。
(図2-4-1)

アドバイス

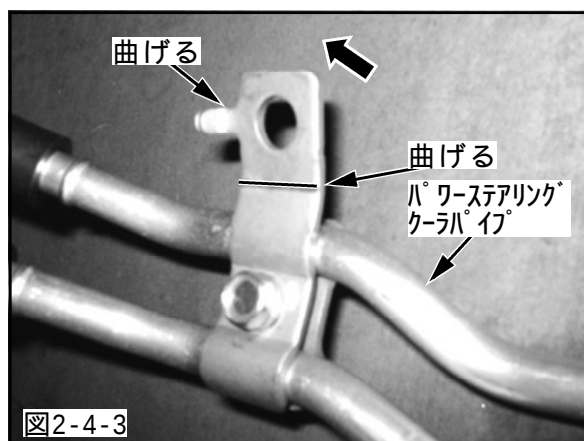
- ・ パワーステアリングフルードがこぼれる為、受け皿等を用意して作業を行なってください。
- ・ ホースバンドは再使用します。



- (4) パワーステアリングクーラパイプをフロントバンパ Assyと干渉しないように図のように曲げてください。
(図2-4-2)

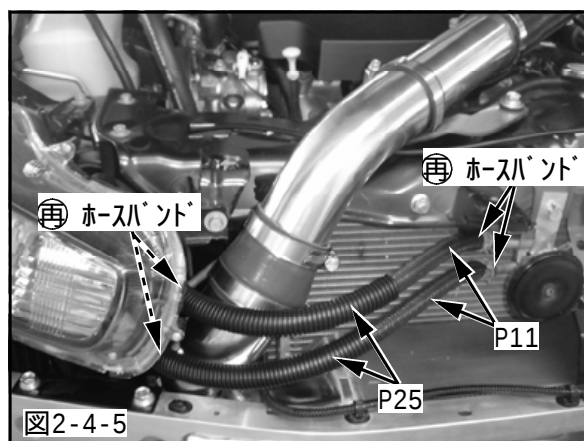
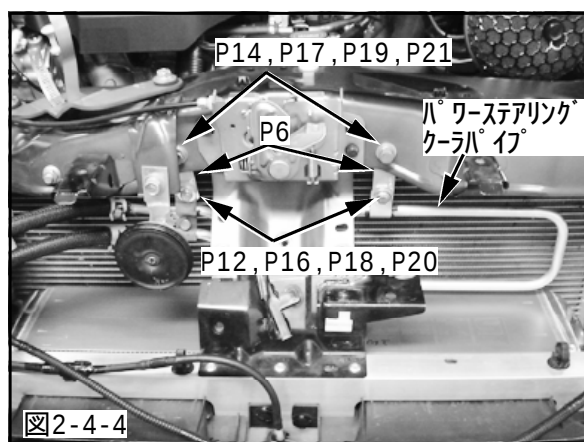


- (5) パワーステアリングクーラパイプのブラケットをエアコンコンデンサと干渉しないように図の矢印の方向へ曲げてください。(図2-4-3)



- (6) パワーステアリングクーラパイプを車両に取付けてください。(図2-4-4, 図2-4-5)

- ・パワステパイプブラケット (P6 × 2)
- ・ボルトM6 L=20 (P12 × 2)
- ・ボルトM8 L=15 (P14 × 2)
- ・フランジ付きナットM8 (P17 × 2)
- ・スプリングワッシャM8用 (P19 × 2)
- ・プレーンワッシャM8用 (P21 × 2)
- ・プレーンワッシャM6用 大径A (P20 × 2)
- ・フランジ付きナットM6 (P16 × 2)
- ・スプリングワッシャM6用 (P18 × 2)
- ・耐油ホース φ10 (P11) (2-4.(1)で480mmに切断したもの)
- ・コルゲートチューブ φ15 (P25)
- ・ホースバンド (純正 × 4)

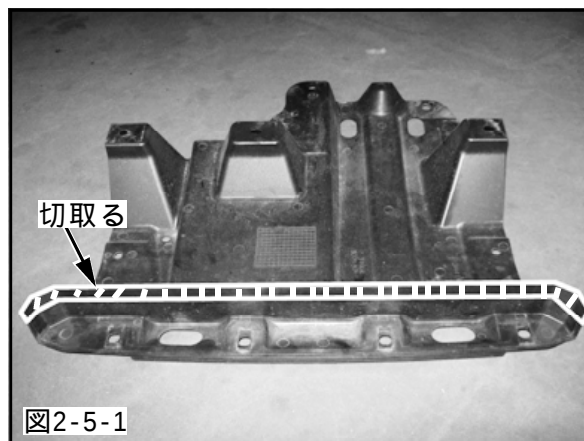


2 - 5 . エンジンルームアンダカバーセンターの加工 マニュアルトランスミッション車のみ作業を行なってください。

- (1) 1. (1) で取外したエンジンルームアンダカバーセンターをインタークーラコアAssyと干渉しないように切取ってください。(図2-5-1)

アドバイス

- ・上側に飛出している部分を切取ってください。

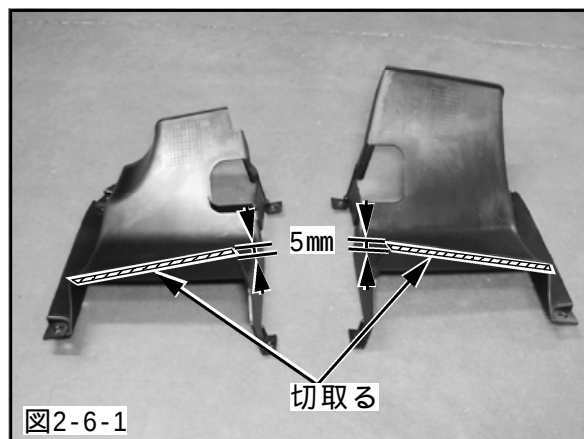


2 - 6 . インタークーラダクトの加工

- (1) 1. (2) で取外したフロントバンパAssyからインタークーラダクトを取外してください。

- (2) 2-6. (1) で取外したインタークーラダクトをインタークーラコアAssyと干渉しないように図のように切取ってください。(図2-6-1)

- (3) 2-6. (2) で加工したインタークーラダクトをフロントバンパAssyに取付けてください。

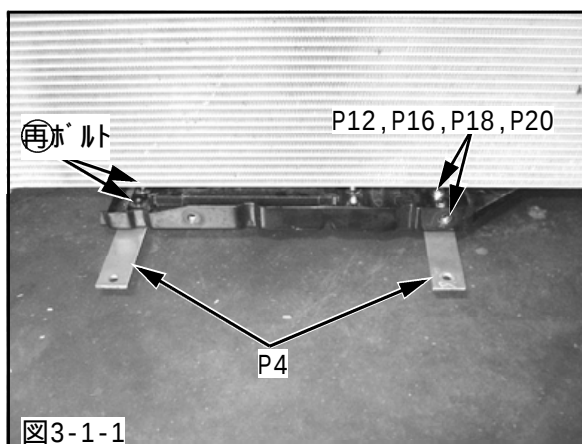


3 . キットパーツ取付け

3 - 1 . インタークーラコアAssyの取付け

- (1) インタークーラブラケットNo2を図の位置に仮付けしてください。(図3-1-1)

- ・インタークーラブラケットNo2 (P4 × 2)
- ・ボルトM6 L=20 (P12 × 2)
- ・フランジ付きナットM6 (P16 × 2)
- ・スプリングワッシャM6用 (P18 × 2)
- ・プレーンワッシャM6用 大径A (P20 × 2)
- ・ボルト (純正)



- (2) インタークーラコアAssyをインタークーラブラケット№2に仮付けしてください。(図3-1-2)
- ・ インタークーラコアAssy (P1×1)
 - ・ ボルトM8 L=20 (P15×2)
 - ・ スプリングワッシャM8用 (P19×2)
 - ・ プレーンワッシャM8用 (P21×2)
 - ・ カラー (P28×2)

アドバイス

- ・ カラーはインタークーラコアAssyとインタークーラブラケット№2の間に入ります。

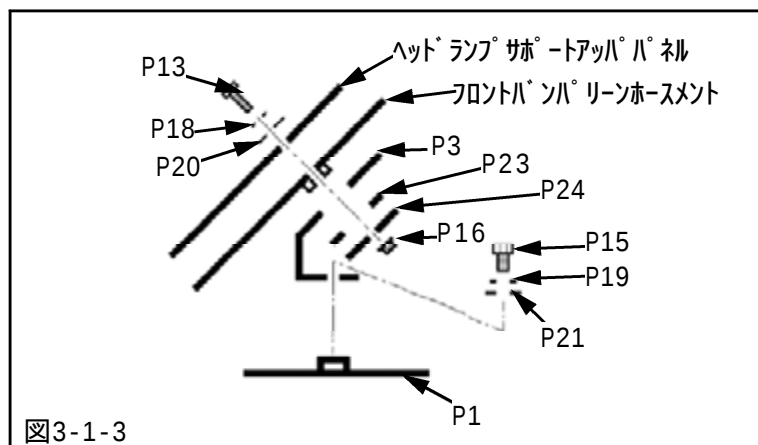
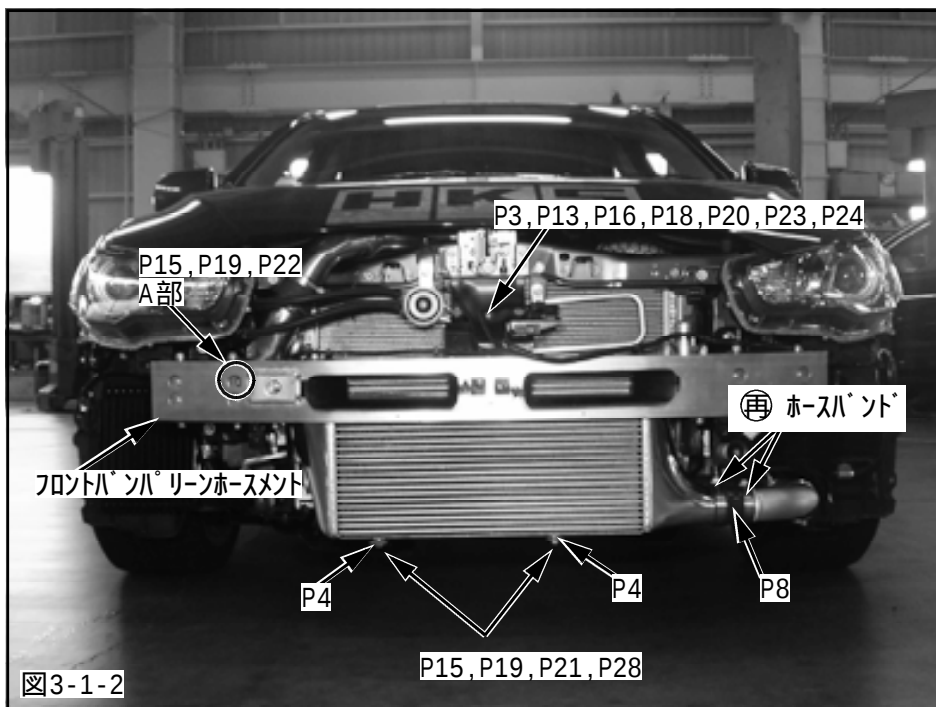
- (3) 1. (2)で取外したフロントバンパリーンホースメントを車両に取付けてください。その際、図A部のボルト類をボルトM8 L=20, プレーンワッシャM8用 大径, スプリングワッシャM8用と交換してください。(図3-1-2)
- ・ ボルトM8 L=20 (P15×1)
 - ・ スプリングワッシャM8用 (P19×1)
 - ・ プレーンワッシャM8用 大径 (P22×1)

- (4) インタークーラブラケット№1をインタークーラコアAssyと車両に取付けてください。

(図3-1-2, 3-1-3)

- ・ インタークーラブラケット№1 (P3×1)
- ・ ボルトM6 L=25 (P13×1)
- ・ ボルトM8 L=20 (P15×1)
- ・ フランジ付きナットM6 (P16×1)
- ・ スプリングワッシャM6用 (P18×1)
- ・ スプリングワッシャM8用 (P19×1)
- ・ プレーンワッシャM6用 大径A (P20×1)
- ・ プレーンワッシャM8用 (P21×1)
- ・ プレーンワッシャM12用 (P23×1)
- ・ プレーンワッシャM6用 大径B (P24×1)

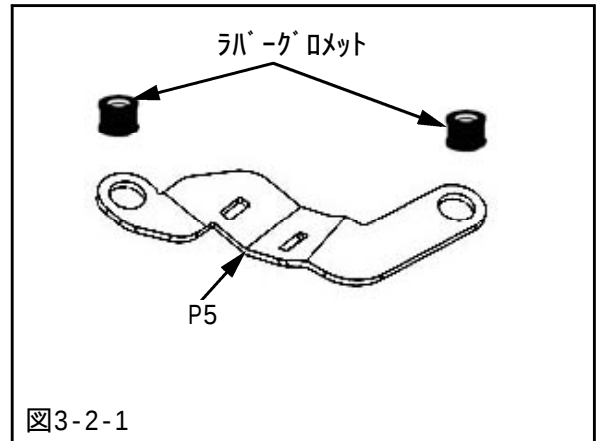
- (5) インタークーラコアAssyが各部に干渉していないことを確認して、インタークーラコアAssy, インタークーラブラケット№1, №2を本締めしてください。



3 - 2 . インタークーラパイプの取付け

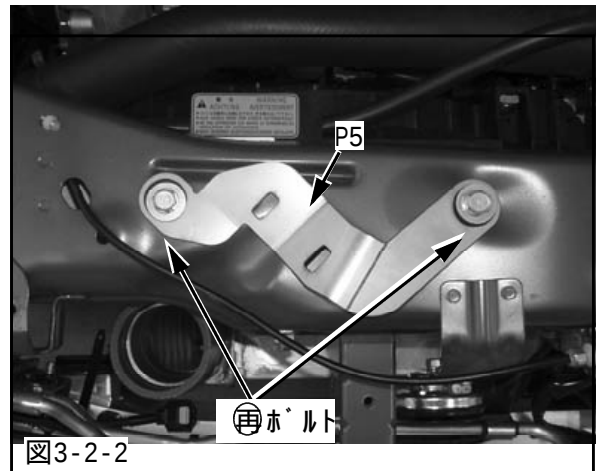
(1) 1. (3)で取外したインタークーラパイプ からラバーグロメットを取外してください。

(2) インレットパイプブラケットに3-2. (1)で取外したラバーグロメットを取付けてください。(図3-2-1)
・インレットパイプブラケット (P5×1)



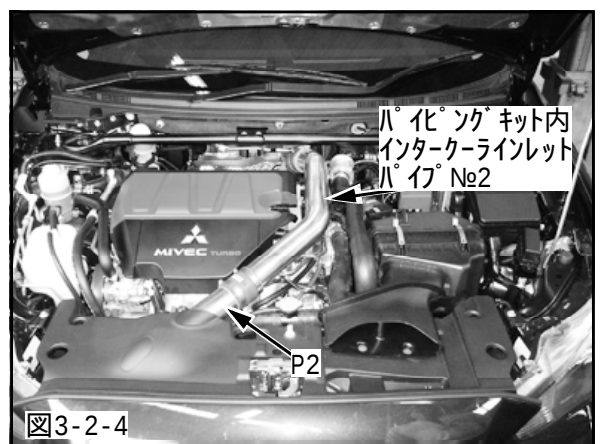
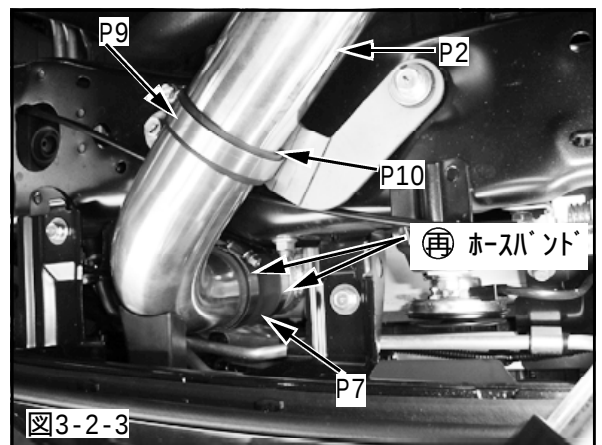
(8) インレットパイプブラケットをフレームに取付けてください。(図3-2-2)

- ・インレットパイプブラケット (P5)
- (3-2. (2)でラバーグロメットを取付けたもの)
- ・ボルト (純正)



(9) インタークーラインレットパイプをインタークーラコアAssy及び純正ホース もしくは、パイピングキット(コード№13002-AM003)のインタークーラインレットパイプ№2へ取付けてください。(図1-3, 図3-1-2, 図3-2-3, 図3-2-4)

- ・インタークーラインレットパイプ (P2×1)
- ・シリコンホース φ70 L=70 (P7×1)
- ・シリコンホース φ60-φ70 (P8×1)
- ・ホースバンド#40 (P9×1)
- ・インシュレータラバー (P10×1)
- ・ホースバンド (純正×4)



4. ノーマルパーツ取付け

- (1) ヘッドライトサポートカバー, フロントバンパAssy, フロントバンパエアガイドセンタダクト, ヘッドランプサポートアップパネル, フロントバンパリーンホースメントを取付けてください。
- (2) エアクリーナダクト, ヘッドライトサポートカバー, エアクリーナケース, エアフィルタ, エアクリーナケースブラケットを取付けてください。
- (3) エンジンルームアンダカバーフロントA, エンジンルームアンダカバーフロントB, エンジンルームアンダカバーセンタを取付けてください。
- (4) バッテリーのマイナス端子を取付けてください。
- (5) パワーステアリングフルードの補充とエア抜きを以下の手順で行なってください。

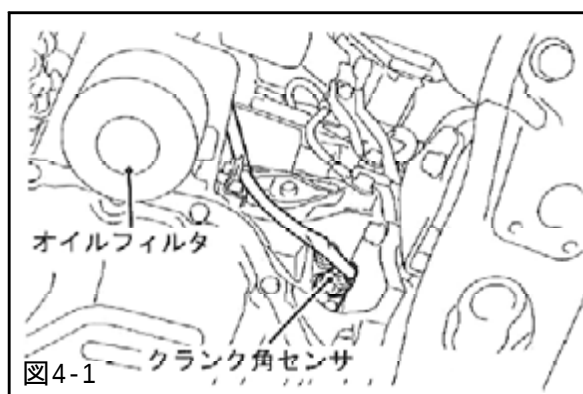
1. 前輪をジャッキアップして、リジッドラックで支えてください。

2. クランク角センサを取外してください。(図4-1)

3. パワーステアリングフルードを補充をし、エア抜きを行なってください。

アドバイス

- ・エア抜きは、パワーステアリングフルードが常にオイルリザーバのMIN位置以上にあるようにパワーステアリングフルードを補充してください。
- ・エンジンを作動させて、エア抜きを行なわないでください。空気が微粒化し、パワーステアリングフルードの中に溶け込むので、必ずクランキングしながら作業を行なってください。



4. スタータでエンジンを断続的に数回(15~20秒以内)クランキングしながらステアリングホイールを5~6回左右いっぱいに動かしてください。

5. 4. (5)2. で取外したクランク角センサを取付け、エンジンを始動(アイドリング回転)させてください。

6. 気泡がオイルリザーバから出なくなるまでステアリングホイールを左右いっぱいに動かしてください。

7. パワーステアリングフルードに白濁が無く、オイルリザーバのMAX, MINの間にパワーステアリングフルードがあることを確認してください。

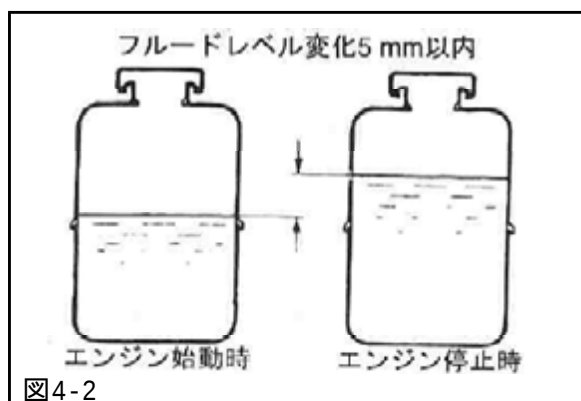
8. ステアリングホイールを左及び右へ動かした時、オイルリザーバのパワーステアリングフルードレベルが大きく変化しないことを確認してください。

⚠ 注 意

- エンジン停止後急激にパワーステアリングフルードレベルが上昇する場合は、エア抜きが不完全な状態です。エア抜きが完全に行なわれていない場合、オイルポンプAssy等から異音が発し、オイルポンプAssy等の耐久性を劣化させる恐れがあります。

9. エンジン始動時と停止時でパワーステアリングフルードレベルの変化量が5mm以内であることを確認してください。(図4-2)

10. パワーステアリングフルードレベルの変化量が5mm以上の場合は、システムのエア抜きが不十分のため、再度エア抜き作業を行なってください。



取付け作業終了後、必ず取扱説明書の「取付け後の確認」に従って確認作業を行なってください。